

いつまでも安心して暮らせる福祉のまちづくり

富士市
社協だより

お元気ですか

特集 富士市被災者支援ネットワーク会議



社協は、みなさんと一緒に地域を支える民間の団体です

富士市社会福祉協議会
ホームページ



発行

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会 TEL 0545-64-6600
〒416-8558 富士市本市場 432-1 FAX 0545-64-6567

あれっ? どこかが違うぞ!?

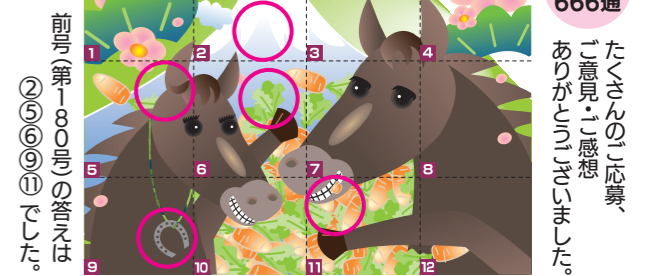
図書カード
プレゼント
10名様

A AとBを見比べて、違っているところを5ヶ所探してハガキに答えを番号で書いて下さい。 B



- 締め切り日 令和8年7月31日(金)
 - 応募は、下記事項をご記入いただき、ハガキまたはウェブにてお申込みください。
 - ①解答 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥あなたの周りに、いざというとき「ちょっと無理が言える」人はいますか?
A:いる(複数いる) B:いる(1人はいる) C:いるかどうか分からない D:いない
- 〒416-8558 富士市本市場432-1 富士市社会福祉協議会
- 正解者の中から抽選で10名様に図書カード(1,000円分)を差し上げます。
 - 当選者の発表は8月31日までに発送をもって代えさせていただきます。
 - 応募いただいた際の個人情報、懸賞目的及び社協事業の情報提供以外での使用はいたしません。

ウェブ申込み
はこちら



たくさんの善意をありがとうございました! 令和7年11月1日~令和8年3月31日(敬称略)

- | | | |
|----------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 元吉原地区町内会連合会 | 13. 諏訪部弘 | 25. 一般社団法人福祉イベント会 |
| 2. 稲葉芳典 | 14. 伊東一 | 26. 静岡県遊技業協同組合 理事長 富田直樹 |
| 3. 富士マンドリンクラブ | 15. 株式会社中央保険代理事務所 | 27. 生活協同組合ユニー |
| 4. 興亜工業株式会社 | 16. ADEKA労働組合 | 28. 公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団「愛の都市訪問」 |
| 5. 偕楽寮会 | 17. 日本女子大学桜楓会富士支部 | 29. 富士市立岩松北小学校2年部 |
| 6. 富士伊豆農業協同組合 富士葬祭センター | 18. イオン社会福祉基金 | 30. 富士市立岩松北小学校6年1組 |
| 7. 株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博 5回 | 19. アスト株式会社・アズフィット株式会社・株式会社カルタス | 31. 大丸松坂屋百貨店労働組合静岡支部 |
| 8. 富士市建設業組合 | 20. 一般社団法人岳南法人会 | 32. 富士市福祉事業協力会 |
| 9. ジャトコ株式会社 生産部門 | 21. 中央静岡ヤクルト販売株式会社 | 33. ジャトコ株式会社素材材工場 工場長 三島学 匿名16件 |
| 10. NPO法人 楽しいことやらせ | 22. 田子浦親交会 | |
| 11. 宗清倶楽部杯チャリティーゴルフ | 23. 立光寺 | |
| 12. まる二 殿岡正美 | 24. 静岡県東部イベント商業協同組合 | |

富士市社会福祉協議会のラジオ番組!

Radio 84.4fm

富士市社会福祉協議会
はあとふるトーク

毎月最終水曜日 15:10 放送!

「手話」覚えてみよう!話してみよう! 88

熱中症 ねっちゅうしょう

右手でバタバタと顔をあおぐようにします。暑いという仕草です。

右手のこぶしの親指側で、おでこを2回ほど叩きます。病という意味になります。

手を重ねて支え合う、 みんなでつくる安心のかたち

被災者支援ネットワーク会議は、災害時に支援が必要な人へつなげるため、多様なひとが集まり、出会い、学び合う場です。様々な分野からお互いの得意なことでできることを持ち寄り、平時からゆるやかに関係を築くことで、「ちょっと無理が言える関係」を育み、災害時にも活かせるつながりを広げていきます。



第3回 開催の様子



富士市社会福祉協議会
加藤 慎也

全国で災害が多発する中、令和3年と令和5年に富士市においても水害による被災を経験しました。その際、富士市社協では、被災者の困りごとに対応するため、災害ボランティアセンターを市と連携し開設しました。富士市や全国の支援現場で見えてきたのは、「困ったという声は待っていても届かない」「助けてと言えない(言わ

ない)人がいる」という現実でした。また、被災地では多様な困りごとが生じる一方で、対応できる人や情報がつながっていないために、「その困りごとには対応できません」とお断りせざるを得ない場面もありました。しかし、子育て支援団体や学生、企業、福祉団体など、富士市に住む多くの人が「何かになりたい」と関わろうとしていることにも気づきました。それぞれが持つ「できること」や「得意なこと」がつながること、小さな声に気づき、みんなでも多様な困りごとを支え合えるのではないかと。そんな思いから、

令和5年度より被災者支援ネットワーク会議を開催してきました。一人ひとりの力は小さくても、みんなの手が重なり合うことで、多様な困りごとが抜け落ちることなく、支え合えたら。平時からつながりを大切に、災害時にも活かせる「ちょっと無理が言える」関係を皆さんと一緒に育てていきたいと思えます。



さらに広がりを見せる、支援の輪



被災者支援ネットワーク会議をきっかけに、「このつながりを絶やさず、より具体的な支援に結び付けたい」という参加者の思いから、富士市民活動センターさんの主催で「富士市被災者支援ネットワーク交流会」が開かれました。昨年行われた第2回交流会では、石川県珠洲市で被災者支援に携わった富士市の高校生が、自らの体験を語ってくれました。「珠洲市で出会った人たちは、どんな思いで日々を過ごしていたのか。自分

は何を見て、何を感じたのか。そして富士市の災害に備えて、今どんなことを考えているのか」。高校生のまっすぐな言葉は、会場にいた多くの人の胸に響き、その一つひとつに耳を傾けていました。災害という非常時であっても、日頃からの信頼関係があればこそ「ちょっとの無理」を互いに頼り、受け入れられるはず。そんなネットワークが確実に富士市で育っています。

出会で広がる活動の可能性

これらの会議への参加を通じて、自分たちの持つスキルが災害時にも役立つと実感しました。困っている人の存在や、自分たちにできることを再認識できたことも大きな変化です。「この団体に頼れば大丈夫」と思える関係が生まれ、分野を越えたつながりが広がっていると感じています。



富士市民活動センター
今屋敷 正成 さん

広がる支え合いの輪

災害時は、多くの人や団体がつながり、協力し合うことが大切です。被災者支援ネットワーク会議は、いざという時に支え合える関係を平時から築くための場だと感じています。これまで接点の少なかった分野の団体の方とも出会い、顔の見える関係が少しずつ広がってきました。参加を重ねるごとにつながりの輪も広がり、地域で支え合う力が育まれていると感じています。



富士市災害ボランティア連絡会
清水 俊雄 さん

被災者支援ネットワーク会議を経て、今わたしが思うこと



杉山 文香さん
富士女性災害支援ネット
富士市被災者支援コーディネーター

05 一步を踏み出す力

世代や活動分野、職域を超えたさまざまな人や団体と出会い、つながることができる貴重な場だと感じています。平時から「顔が見える」「つながっている」関係が、いざというときの力になります。「私の〇〇を必要としてくれている人がいる」という気づきが、一步踏み出すきっかけになると感じています。

分野を超えたつながりが、支援を広げる

分野にとらわれず、さまざまな人と関わるのが大切だと感じています。関心を広げて行動することで、人との関係は自然と広がってきます。そうして生まれた関係が円を描くようにつながり、それぞれの強みが活かされ、支援の広がりを生み出していくと感じています。



安藤 彰祥さん
富士市防災危機管理課

07 つながりでつくる“オール富士”の第一歩

回を重ねるごとに新しい参加者が増え、ネットワークは確実に広がっています。多様な強みがつながることで、これまで届かなかった支援にも手が届く“オール富士”で支える力が形になってきていると感じます。

顔の見える関係が、支援の土台になる

顔の見える関係があることで、日頃から情報を共有し、声をかけ合うことができます。こうしたつながりが連携を生み、支援を支える大切な土台となっていると感じています。

このネットワークがあることで何がかわるのか

顔の見える関係とよく言いますが、コチラから見えていても、相手からは見えていないかもしれない。全くの赤の他人ではないが、一度名刺交換した程度では自身からヘルプを出すには至らないでしょう。富士市の被災者支援ネットワーク会議の目指す所は、顔の見える関係のもう一つ二つ先なのだと思います。そのためには、まずはお互いを知ろうという視点、理解しようという姿勢、ここがスタートかもしれません。互いに存在を認め合い、成功も失敗も共に経験すること。苦楽を共にしてこそ本当の「助けて!」を言える、聞こえる、その声に応えようと思う、のだと思います。そんなきっかけのたくさんつまったネットワーク会議に今後も期待します。

講師 松山 文紀さん
災害対応NPO MFP代表

06



赤澤 佳子さん
SASAERU
富士市被災者支援コーディネーター

08



石原 正美さん
災害福祉支援チームDWAT

09



9人に聞きました!



富士市社会福祉協議会
山本 彩都

第3回となった今回の被災者支援ネットワーク会議には、分野も立場も異なる多くの方が参加してくださいました。このページでは、参加者の皆さんから寄せられたメッセージをご紹介します。富士市には、災害時に力を発揮したい、大切な人を守りたい、そんな思いを持つ方が本当にたくさんいます。私は、その存在こそがこのまちの強さだと感じています。こうした方々が平時からつながり合い、またそのつながりの輪がさらに広がっていくことで、いざというときに多様な困りごとに寄り添い、支え合える地域になっていくと信じています。この会議を通して生まれたつながりが、これからの富士市をより強く、より温かいまちへと導いてくれるはずですよ。

01 高校生にもできること

さまざまな立場の方の経験を伺う中で、自分の活動も認めていただき、大きな励みになりました。応急手当や傾聴など、高校生にもできることを活かしながら、災害時だけでなく日常の中でも地域に貢献していきたいと感じています。



そら
米山 昊来さん
高校生（ジュニア防災士）

02 日常から自分ごととして考え、支え合う

ネットワーク会議に参加する中で、日頃からさまざまな支援に携わる方自身の心のサポートもとても必要だと感じました。自分の心身と向き合いながら日常からできる備えや行動は何かを考え、コミュニケーションや情報共有を互いにキャッチしあえる関係性を皆さんと築くことが大切だと感じています。



大貫 薫子さん
Happy はぐHeart

03 ネットワークが生む、新たな動き

ネットワーク会議に参加し、多くの方に出会い、その熱量に触れる中で、自分も何かしたいという思いに駆られました。実際に高校生とつながり、地域の活動に関わってもらった話も生まれています。こうした出会いが新たなつながりとなり、これからの活動に生きていくと感じています。



佐藤 祐樹さん
広見地区まちづくり協議会

04 自分たちにできることを次につなげる

会議に参加する中で、さまざまな人とのつながりが生まれました。平時から顔の見える関係を築いておくことの大切さを感じています。こうしたつながりをもとに、自分たちにできることを考え、これからの関わりにつなげていきたいと感じています。



上杉 和弘さん
富士地区労働者福祉協議会

特別会員募集

個人・企業・法人等
1,000円から

特別会員は
通年募集しております

あなたの会費が福祉のまちづくりに活かされます。

社協では、地域のみなさまと一緒に「だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を推進しています。お預かりした会費は、地域のさまざまなニーズにあわせ、地域での福祉活動支援や福祉サービスにかえてみなさまにお返ししています。一人でも多くのみなさまに、社協の活動趣旨に賛同いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

詳しくはこちらへご連絡ください。
富士市フィナンセ東館1階 生活あんしん課
TEL 0545-64-4649



お知らせ

ボランティア情報サイト「ボラぼち」オープンしました!

「ボランティアをしてみたいけれど、どんな活動があるのか知りたい」「ボランティアに関する情報を一覧で見たい」そんな“ちょっと気になる”気持ちにこたえるため、情報サイト「ボラぼち」を開設しました。ボランティア情報のほか、開催を予定しているイベントや講座も掲載しているため、ふとした時でもサイトを覗けば、最新の情報を入手することができます。ぜひ二次元コードからアクセスしてみてください。

お問い合わせ
富士市社会福祉協議会 ボランティアセンター
TEL 0545-64-7100



受け取り忘れていませんか? 地域ダントツの実績!!
障害年金 相談件数 5,928件以上!!
病气やケガで障害を負った方で、一定の条件を満たしていれば受給することができる「障害年金」。**1日5名様限定!**

症状等に応じて年間約 **58万円~200万円**にも。
病气やけがで働く事に困難がある方、お気軽にお問い合わせください。
無料相談会
静岡会場 静岡市東区伝馬町1-2 12:00~16:00
第525回 第528回
6/10(水)、6/24(水)
第530回 第533回
7/8(水)、7/22(水)
三島会場【三島商工会議所】
三島市一番町2-29 13:00~17:00
第526回 6/17(水)
毎月2回ずつ静岡市・浜松市で開催中!
安心の予約制 **20~64歳の皆様へ**

対象となる主な傷病 ※これらは一部です。約100種類の傷病が対象となります。
うつ・統合失調症・脳梗塞・脳出血・がん・人工肛門・人工関節・肝硬変・手足の外傷・心疾患・知的障害・発達障害・人工透析・目、耳の病気など
静岡・浜松障害年金相談センター
054-293-5445
平日 10:00-17:30
運営:アイアール社会保険労務士法人
アイアール 障害年金 検索
www.irn-nenkin.jp
スマホ対応

広告募集

お元気ですかに掲載する
広告を募集しております。

お問合せ

総務課 ☎ 0545-64-6600

令和8年度 予算



R8予算書



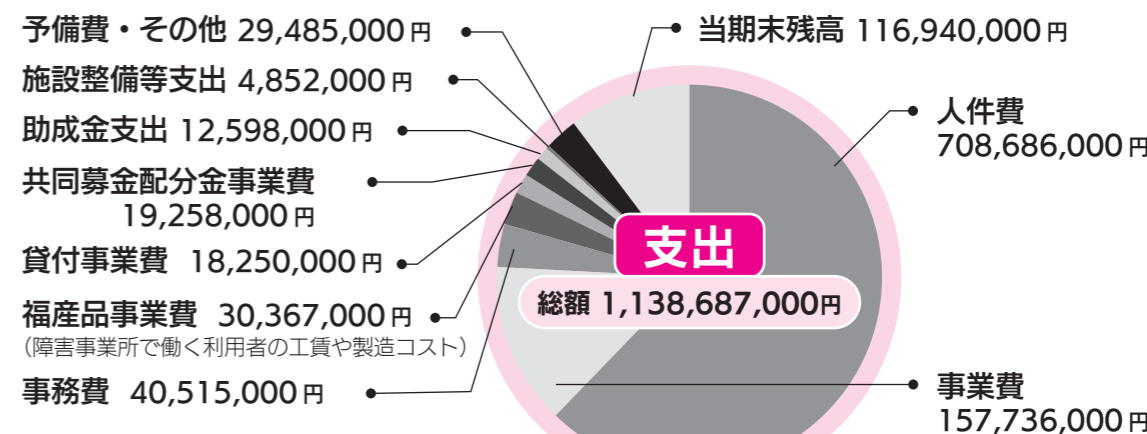
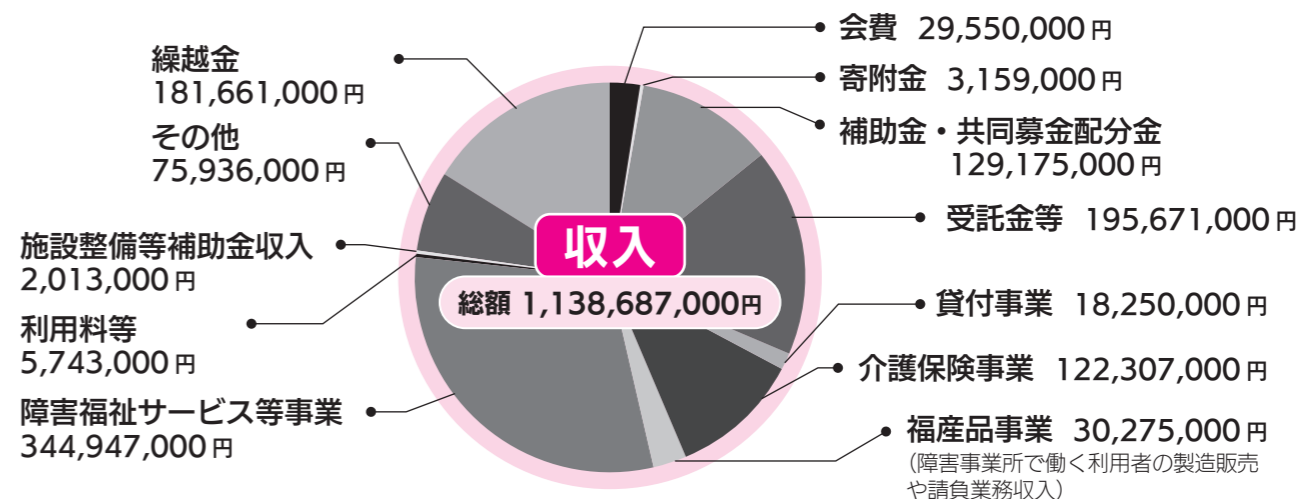
R8事業計画

社協は人と人をつなぐ
福祉団体です。

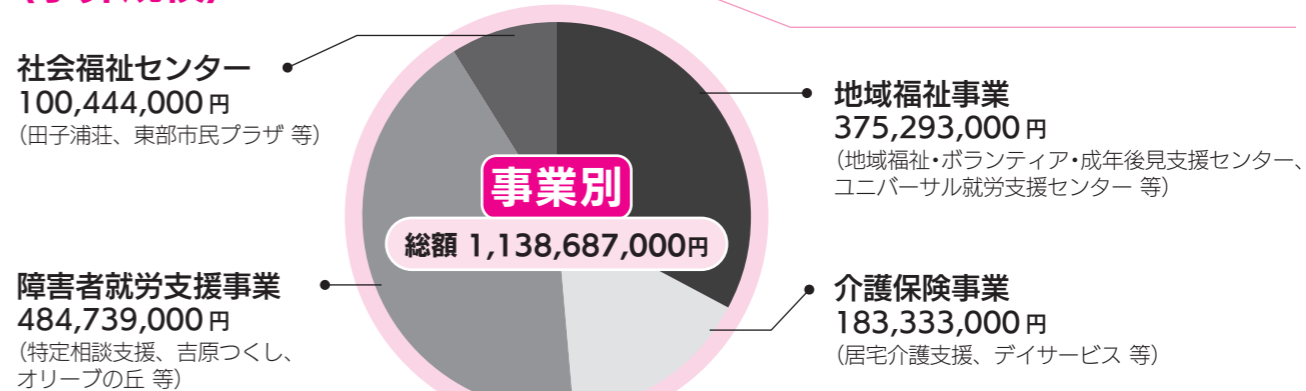
全国社会福祉協議会が33年ぶりに改訂した「基本要項2025」では、地域と協働し「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を使命とし、災害支援や財源確保など新たな役割が示されました。

本会ではこれを踏まえ、地域や関係者と連携しながら事業の充実と組織強化を進めます。一方、物価高騰等により深刻化している生活困窮などにも対応するため、相談支援の充実にも層取り組みます。あわせて終活支援の推進や地域福祉活動計画の策定、財政基盤の再構築、人材確保・育成を進めます。

本年度も地域共生社会の実現に向け、役職員が一丸となって取り組んでまいります。



〈予算規模〉



※事業別予算は、社会福祉法人会計基準に基づき、社協内同士の取引 5,122,000円を差し引いています。